

ワタミエナジー うすきバイオマス発電所稼働開始

ワタミ株式会社（東京都大田区）のグループ会社、ワタミエナジー株式会社（東京都大田区、以下当社）は、大分県臼杵市でバイオマス発電所を6月から稼働しました。当社は、大分県臼杵市で林業に取り組むなかで、森林を継続的に整備し続けるためには、継続して経済循環する仕組みが必要と考え、バイオマス発電の導入を準備してきました。今回のバイオマス発電所で発電した電気は、市内の地域電力会社 うすきエネルギー株式会社（大分県臼杵市）に卸供給し、地域の企業やご家庭に供給される地産地消の取り組みです。ワタミグループでは、風力発電や太陽光発電に取り組んできましたが、気候変動は待ったなしであり、地球上の再生可能エネルギーの総量を増やす「追加性（additionality）」が重要であることから、新たな再生可能エネルギーに投資していきます。

今回導入するバイオマス発電所は小型のため、海外から大規模に原料を輸入するのではなく、地域の間伐材由来のチップを原料とするため森林減少・劣化を伴わない持続可能な取り組みです。また、バイオマス発電は、発電時にチップの燃焼に伴いCO₂を排出しますが、原料とする木材が生長時に吸収した大気中の炭素であるため、『カーボン・ニュートラル（炭素中立）』な発電方法と言われています。こうした小規模な成功事例をモデル化して、岩手県陸前高田のワタミオーガニックランド等で今後展開していきたいと考えています。

■うすきバイオマス発電所概要

所在地	: 大分県臼杵市佐志生 5 1 5 4 - 1
出力容量	: 4 5 kW
年間予想発電量	: 3 2 4 千 kWh



廃校のグラウンドに設置したバイオマス発電所



原料となる地域の間伐材由来の木質チップ



木質チップをガス化するガス化炉



発電機部分

■ワタミグループの再生可能エネルギー事業

ワタミグループで取り組む風力発電や 6 カ所の食品工場等の屋根に設置したルーフソーラーで発電した再生可能エネルギーも含めた電力を、グループ内だけでなく、社外へも販売をしています。2016 年 4 月から低圧電力の自由化にともない、個人の家へへの販売も開始しました。また、事業活動で消費する電力を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する「RE100 (アールイー100)」に日本の外食企業では初めて加盟しました。今後は、2040 年までに事業活動で消費する電力を 100%再生可能エネルギーにする目標を掲げています。

■お問い合わせ先

ワタミエナジー株式会社

TEL : **03-5737-2816** (受付時間 平日 9 時～ 18 時)

E-mail : info-pps@watami.net

■ワタミエナジー株式会社

【所在地】東京都大田区羽田 1-1-3

【代表者名】代表取締役 高橋雅彦

【設立】1998 年 7 月

【ホームページ URL】<https://watami-energy.jp>



秋田県では 3 基の風車を稼働